

緑の休暇村エリアの 概要について

令和8年6月
相模原市 緑区役所地域振興課

事業の概要

➤ 目的

本事業は、青根地域が中山間地域振興のモデル地区として選定されたこと及び老朽化が進んだ青根緑の休暇村いやしの湯の中規模改修工事等をきっかけに、緑の休暇村エリアの再整備を行うことで、青根の目指す姿である「関係人口を創出するため、目的地となる青根・立ち寄りたくなる青根の実現」への貢献を目指すものです。

➤ 経過

令和4年度 中山間地域振興モデル地区（青根）の目指す姿を策定
令和7年度 リニューアル作戦会議（青根地域との対話）を実施

➤ 今後のスケジュール（想定）



※今後の検討状況等により
スケジュールは変更と
なる場合があります。

3-1 対象施設（現状）

緑の休暇村センター



施設の外観（左）・内観（右）

開設年度

昭和55年

延床面積 640.75㎡

年間利用者数

1,680 人（令和6年度実績）

設置目的

青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。

▶ リニューアルの方向性：宿泊施設として建替え

3-2 対象施設（現状）

津久井合唱館



施設の外観（左）・内観（右）

開設年度	平成6年	延床面積	105.24㎡
年間利用者数	627人（令和6年度実績）		
設置目的	市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の総合交流の促進に寄与する。		

▶ リニューアルの方向性：有効な用途がなければ撤去

3-3 対象施設（現状）

青根緑の休暇村いやしの湯 ※温泉として維持



施設の外観（左）・内観（右）

開設年度	平成17年（現在、改修工事中。令和8年9月リニューアル予定）
年間利用者数	83,016人（令和6年度実績）※食堂利用者含む
設置目的	温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与する。
備考	温泉の源泉権については地域組織（現在の指定管理者）が保有している。

4 リニューアルの検討対象施設の災害ハザード状況

